

日本油化学会 界面実践講座 2018

主催 公益社団法人 日本油化学会

会期 平成30年(2018) 7月 10日(火)、11日(水)

会場 油脂工業会館9階会議室 (〒103-0027 東京都中央区日本橋3-13-11)

プログラム (演題および講師)

第1日 7月10日(火)

1. 処方設計のための多成分界面活性剤混合溶液の理解

界面活性剤を含む溶液やエマルションを用いた処方設計のために必要な、複数の界面活性剤の混合、添加物(油剤、ポリオールなど)の共存などの溶液物性・界面物性、相挙動に対する影響について理解を深めるように解説します。

横浜国立大学大学院 荒牧 賢治 氏 9:30~10:30

2. 分散・凝集を理解するためのゼータ電位

微粒子の分散・凝集の基本的枠組みを与える DLVO 理論とゼータ電位の関係について解説します。凝集・分散を支配する因子は何か、ゼータ電位とは何か、これらの問いについて実験結果の考察を交えて考えます。

筑波大学大学院 小林 幹佳 氏 10:35~11:35

質問タイム 11:35-12:05 (昼食・休憩 11:35-13:00)

3. 小角・広角 X 線散乱法の学際的応用：押さえておくべき基礎知識から最新の応用例まで

小角・広角散乱法の同時測定技術は、0.1nm~100 nm 程度の空間スケールでの微細構造を、非破壊で観測可能な手法である。学术界と産業界での一層の有効利用を目指し、基礎事項から分析技術や最新の応用例までを紹介する。

信州大学 佐藤 高彰 氏 13:00~14:00

4. 散乱解析を用いた二分子膜閉鎖小胞体の溶存状態とその製品応用

散乱解析により分子集合体の構造特性を捉えることが可能である。今回、本解析の有用性について、溶液中のベシクル会合体に関する検討結果を分光学的視点も加え、応用例と共に議論する。

ライオン株式会社 小倉 卓 氏 14:05~15:05

5. 装置メーカーによる装置紹介

① 小角 X 線散乱装置の紹介と測定例

小角 X 線散乱法はナノスケールの構造解析手法として有用な手法の1つである。セミナーでは最新の小角 X 線散乱装置と測定例をご紹介します。

株式会社リガク 尾本 和樹 氏 15:10~15:40

② ゼータ電位・粒径・分子量測定システム ELSZ-2000 に関する製品紹介

光散乱法を用いてゼータ電位・粒径・分子量が測定できる ELSZ-2000 について、測定原理やアプリケーションなどを中心にご紹介します。

大塚電子株式会社 橋田 紳乃介 氏 15:45~16:15

6. 基礎から学ぶ濡れ・泡・洗浄

界面活性剤の応用物性・性能の中から、界面自由エネルギーと接触角の関係から濡れ現象を、各種試験法と除去メカニズムの関係から洗浄について説明する。

横浜国立大学大学院 大矢 勝氏 9:30~10:30

7. 乳化・可溶化を使いこなすための基本的な考え方

製剤化でしばしば必要とされる「乳化」と「可溶化」。この2つのキーワードが意味する基本的な理論と現象を本講演では解説します。

千葉科学大学 山下 裕司氏 10:35~11:35

質問タイム 11:35-12:05 (昼食・休憩 11:35-13:00)

8. 分散系のレオロジー

分散粒子間の相互作用と分散系のレオロジー特性との関連について概説する。また、どのようにしたら製品や原料のレオロジー特性をコントロールできるかを知るために、分散系の粘度や粘弾性に影響を与える要因をいくつか解説する。極力数式を使わず、感覚的に理解出来るような解説に努める。

D I C株式会社 堀米 操氏 13:00~14:00

9. 相平衡図を用いた乳化化粧品の価値づくり

乳化・可溶化系化粧品の価値づくりに際しては、水や油の配合目的に応じた最適なマイクロ状態の実現が重要である。相平衡図を活用すれば、やみくもな試行錯誤に陥ることなく基剤を構築できる。このような視点から開発事例を紹介する。

株式会社資生堂 渡辺 啓氏 14:05~15:05

10. 装置メーカーによる装置紹介

① レオメータ

アントンパール・ジャパン 15:10~15:40

② 表面・界面張力計の紹介と測定例

昨今、浸透性・界面活性剤の評価、また時間で変化すると液体の評価などに静的・動的な表面張力の測定が有効とされている。本講座では当社の表面・界面張力計の紹介とともに、その測定例について述べる。

協和界面科学株式会社 平野 大輔氏 15:45~16:15

質問タイム 16:15-17:00

参加費 テキスト代込み

(単位:円)

	1名	2名	3名	1名増毎
--	----	----	----	------

本会正会員（個人会員）	18,000	—	—	—
本会法人会員（一括申込に限り）	20,000	30,000	40,000	+10,000
★ 会員以外の方	36,000	—	—	—
学 生	6,000	—	—	—

★ 会員以外の方は申込時に本会にご入会されますと、会員参加費となり、更に毎月、会員誌『オレオサイエンス』が送付されます。（正会員会費 10,000 円、入会費 無料）

※ 参考書：参加者には「界面活性剤評価・試験法」（日本油化学会編 第二版）を、特別価格にて販売いたします。（定価：12,000 円＋消費税 → 8,000 円）

募集人員 80名（定員になり次第締め切ります）

申込締切 7月3日（火）

申込先 公益社団法人日本油化学会 Fax: 03-3271-7464 E-mail: y-kubo@jocs-office.or.jp

申込方法 申込書に所要事項をご記入のうえ、Fax または e-mail にて申し込み、参加費等を送金ください。
なお、送金手数料はご負担ください。

送金先：三菱UFJ銀行 八重洲通支店・普通 1057794 公益社団法人日本油化学会

界面実践講座 2018 参加申込書		
氏名	ふりがな ()	会員No.
勤務先		
連絡先	〒 Tel: Fax: E-mail:	
参加費 (○印)	本会正会員 18,000 円 本会法人会員（参加 名）() 円 会員以外の方 36,000 円 学 生 6,000 円	送金予定日： 送 金 額： その他事項：
参考書 (○印)	8,000 円	